

## 寄留の民よ、どこにあっても礼拝、感謝を神に奉げなさい

「さあ、あなたもあなたの妻も、息子も嫁も、皆一緒に箱舟から出なさい。すべての肉なるもののうちからあなたのもとに来たすべての動物、鳥も家畜も地を這うものと一緒に連れ出し、地に群がり、地上で子を産み、増えるようにしなさい。」そこで、ノアは息子や妻や嫁と共に外へ出た。獣、這うもの、鳥、地に群がるもの、それぞれすべて箱舟から出た。ノアは主のために祭壇を築いた。そしてすべての清い家畜と鳥のうちから取り、焼き尽くす奉げ物として祭壇の上にささげた。

創世記 8：16-20.

バーゲンフィールドに来て4ヶ月経ちました。と言っても8月は3週間日本に一時帰国し、大阪で行われた国際美術教育学会で発表をさせていただいたり、論文の為の資料集めをしたりと着任早々教会からお休みを取りましたので、まだ実数は3ヶ月ちょっとで、ようやく慣れてきたかな・・・と言ったところです。バーゲンフィールドはこれまで奉仕していたパークリッジとはたったの15キロしか離れておらず、同じバーゲン郡の町ですが、町の様子はこれまでとは全く違います。これまでは町の9割以上が白人でカトリックが7割方をしめ、後はプロテスタント、ユダヤ教、無神論といった感じでしたが、バーゲンフィールドではフィリピン人が3割、それ以外のアジア系が1割、ユダヤ人(白人)が3割、カリブ系を含む黒人が2割、白人が1割といった感じで、多様な人種がかもし出している雰囲気があります。

パークリッジはある意味都会と田舎の中間的郊外で落ち着いてはいましたが、町はあまり発展する感じではありませんでした。まあいつ行っても、これから10年後、20年後も同じかも・・・といった印象。それに対してバーゲンフィールドはニューヨーク、ジョージワシントン橋から車で10分と近く、より都会に近い郊外で絶えず変化している感じです。それが教会にも反映しており、礼拝堂は中央に聖壇に通じる道があり、両サイドに会衆席があるのですが、向かって右側はフィリピン人、左側は白人、黒人、フィリピン人以外のアジア人などが座りくつきりコントラストを描いています。フィリピン人が教会の多数派ということになりますが、特に教会を左

右する多数派はおらず、様々な人種と一緒に礼拝を守っている様子はこれからのアメリカの教会を象徴しています。

牧師館は教会幼稚園の庭を挟んで教会の裏?にあるのですが、牧師館の面している街路の向う三軒両隣は2軒を除き皆ユダヤ人です。引っ越してきてすぐご近所に挨拶に行ったのですが「随分とユダヤ人が多い地域だなあ」と思ったのですが、それもそのはず。私たちの教会から1ブロックの所にオーソドックス(正統派、保守派で厳格)のユダヤ教寺院があり、その会衆は彼らの聖日である金曜日の夕暮れから土曜日の夕暮れは車に乗らず歩いて礼拝に通います。ですから歩ける距離に寺院の会員は移り住むわけです。かつて古代ユダヤ教の世界、旧約、新約の時代はキリスト教徒を含めユダヤ人以外を異邦人と呼びましたが、新しい住まいのある地域限定ではありますが、私は今、自分が異邦人になったような気がします。ユダヤ人の隣人と仲良くしながら宣教活動をしていく、というのもこれまでの伝道活動に加え新たなチャレンジです。

さて聖書の登場人物たちノア、アブラハム、イサク、ヤコブ、モーセなどは皆神から与えられた約束の地を信じて旅立ちました。私もアメリカに来てもう足掛け29年になりますが、ニューヨーク、ニュージャージー、コネチカットの3州内ではありますが、幾度も住居が変わりました。これまで最長13年住んだパークリッジでさえ、牧師館の移動で同じ町の中で1度引っ越しています。今回新たな地にきましたが、一つ言えることは私たちの故郷、永住の地は天にあるということです。一つの場所に留まるのは良いことではありますが、そこに思い出をいくら積んでもやがては、そこにいた人も居なくなり、家並みも変わり、全てが風化してしまいます。教会も同じ。場所に囚われていては次に進めません。教会とは神を信じ礼拝する信者の群れです。

ノアの物語は聖書の神話として語り伝えられていますが、多くの教訓を私たちに伝えてくれます。まずノアは世の人々が神を信ぜず神から離れて暮らしていた時、彼だけは神と共に歩んでいました。大洪水が来るというお告げを聞いた時、彼は何も言わず、神の命じられた通り、巨大な箱舟を海から遠く離れた陸の上に造りました。人々の嘲笑をかったに違ひありません。しかし彼は神を信じ黙々と作業を続けました。そして彼の家族、地上の全ての動物、鳥、虫などを箱舟に乗せました。

神に命じられた全部の作業を終えたとたん雨が降

り始めました。雨は40日40夜降り続き、その後も150日雨は地を覆ったと書かれています。その間、ノアと家族はどこへ行くとも知らず箱舟の中で過ごしていましたが、彼はひたすら神を信じ続けました。更に3ヶ月、40日、1週間と時が経過しようやくノアは家族と箱舟に乗っていた全ての生き物を地上に降ろすことができました。

船から降りたノアが最初にしたことは宴会でもなければ家作りでもなく、聖壇を作って感謝の奉げ物する＝礼拝でした。このアメリカに住む私たちは寄留の民です。日本からアメリカに来て、更には一つの町から他の町へと引っ越してきました。今ある所も決して永住の地ではないかもしれません。私たちは移り住んだ場所でもすると神に感謝を奉げ礼拝するという事よりも、その地の風習に慣れることや自分の生活を確立することを優先します。しかし、聖書の中の登場人物はノアに限らず、アブラハム、イサク、ヤコブ、モーセなどどこに行ってもまず彼等は聖壇を立て奉げ物を焼き神を礼拝しました。私たちがまず礼拝を守り、それから日々の生活に戻るといふ信仰を持ちたいものです。

バーゲンフィールドはこの世での仮住まいの一つですが、今、神にこの地に導かれたことを受け止め、この地でまずすべきこと、聖壇で奉げものをする＝礼拝を守ることを第一に皆さんと生活を形成していきたいと思えます。

吉松 純

**バーゲンフィールドでの日本語礼拝は10月26日から始まりです。毎週午後3時から礼拝堂で守っています。**

11月 2日：礼拝、聖餐式、Jr. 教会

9日：礼拝、Jr. 教会

16日：**礼拝は午後4時より**。この日は教会の年次総会が午後1時30分から午後3時まであります。その為日本語礼拝時間が遅くなります。ご了承下さい。

23日：礼拝、Jr. 教会

30日：礼拝、Jr. 教会、アドヴェント

**行事予定と報告・お知らせ**

- \* 11月16日教会総会。教会の運営状況、日本語ミニストリーを含む伝道計画、来

年の目標などが話し合われます。どうぞお祈り下さい。総会は午後12時30分から3時までですので、**日本語礼拝は午後4時から**になります。お間違えのないようにどうぞ。

- \* 11月26日（水）、午後7時30分より、エキュメニカル感謝祭合同礼拝（英語）。グッド・シェパード教会にバーゲンフィールドの諸教会、ユダヤ教寺院が集まって感謝祭の礼拝を守ります。皆様どうぞご参加下さい。

- \* 27日：感謝祭礼拝、午後5時。缶詰、スパゲティなど保存のきく食べ物をお持ち下さい。町のフードセンターやCUMAC・ECHOに献品します。礼拝後、牧師館で持ち寄り祝会をします。七面鳥は教会で用意する予定です。

**御協力お願い致します。献金のあて先はUMC-JAとし、寄付のあて先をNoteに記してください。**

\*サマーキャンプの為

\*ハーベスト・タイム放映の為、献金、お祈りのご協力をお願いいたします。

\*消印のついた切手の周り1センチの余白を残して切り取って下さい。切手は日本キリスト教海外医療協力会（JOC S）に送ります。JOC S海外に医療関係者を送ると共に医療関係者の育成をしています。

\*ケニヤの恵まれない子供達やエイズの患者さん為に特別献金をしています。ご協力下さい。

\*パターソンのSt. Philip伝道と社会福祉団体CUMAC/ECHOの為に。どちらもメソジスト教団に属し、貧しい人達の為の炊き出しと路傍伝道をしています。

**新しい連絡先**：The Church of the Good Shepherd, UMC. 326 New Bridge Rd. Bergenfield, NJ 07621  
**英語オフィス**(201) 385-4100  
**ホームページ**：<http://umc-japan.org>  
**牧師館**：(201) 338-2744

**吉松牧師** [junyoshim@optonline.net](mailto:junyoshim@optonline.net)

**教会学校担当**：吉松 泉姉  
[izumi.yoshimatsu@gmail.com](mailto:izumi.yoshimatsu@gmail.com)

**感謝を込めて・・・**